

平成 14 年 3 月 12 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都千代田区紀尾井町4番3号
泉館紀尾井町ビルディング
日本リテールファンド投資法人
代表者名 執行役員 廣本裕一
(コード番号8953)

問 合 せ 先

三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社
代表取締役副社長 浅井秀則
TEL. 03-3511-1692

「日本リテールファンド投資法人」の上場について

本日、わが国で3番目のREIT(不動産投資信託)「日本リテールファンド投資法人」が、東京証券取引所に上場致しました。

今回の「日本リテールファンド投資法人」の上場は、昨年9月の大手不動産会社系2社によるREIT上場に次いで3番目ですが、商業施設に特化したREITとしては、日本で初めて上場するものです。又、不動産会社以外の会社がスポンサーとなる初めてのREIT上場でもあります。その他の特徴は以下の通りです。

今回のIPOに際して組み入れた4物件は下記の通りですが、賃貸借期間が平均で17年と長期に亘り、その内7割がイトーヨーカ堂、イオンなど信用度の高いテナントで占められる為、安定した賃料収入が確保できる、

魅力的な配当利回り(公募価格に基づく第一期予想配当利回り約5.8%)が期待できる、

三菱商事とスイス系金融機関UBSアセットマネジメントが、2000年11月に共同で設立した不動産投資信託委託会社、「三菱商事・ユービーエス・リアルティ(MCUBSR:東京都千代田区、社長 廣本 裕一)」が資産運用を受託する。MCUBSRは、三菱商事の持つ流通・商業分野に於ける物件情報の収集・選定機能、大型商業施設の開発・運営実績と、UBSの持つ長年に亘る欧米での不動産投資顧問としてのノウハウ、多様なファンド運営実績を融合させており、グローバル・スタンダードによる運用を最大の特長としている。

【当初の対象物件】

「日本リテールファンド投資法人」が投資する対象物件は、全国各地の都市型商業店舗ビル、郊外型ショッピングセンター、ロードサイド型店舗など、一般投資家の皆さんが日頃お買い物に出掛けられるような分かり易い物件ばかりです。今回上場時にファンドに組み入れる4物件は、次の通りです。(詳細は添付目録見書をご参照願います)

- 1) 仙台中山ショッピングセンター(宮城県仙台市:鑑定評価額 102億円)
- 2) 川崎エスパ(神奈川県川崎市:鑑定評価額 101億円)
- 3) ジャスコ茅ヶ崎ショッピングセンター(神奈川県茅ヶ崎市:鑑定評価額 83.1億円)
- 4) JRF大阪心斎橋ビル(大阪府大阪市:鑑定評価額 145億円)

以 上